

IPH工法（内压充填接合補強）

技術評価

土木学会 技術評価認定

● 「公益社団法人 土木学会 技術推進機構」による**技術評価認定**
を受けた**唯一の注入工法** (技術評価証 第0020号)

評価内容

本工法は注入器具取り付け位置を穿孔し、コンクリート内部から流動性の高い樹脂を低圧で注入することで、微細なひび割れまで十分に注入でき、高密度の充填が可能な工法である。維持管理への適用を主体に考えているが、コンクリートの部材強度の回復や耐力の向上も期待も見込まれる。**本工法の適用範囲およびコンクリート部材強度の回復や耐力の向上について確認した。**



技術評価証

| | | | |
|-------|--------|---------|------|
| 技術評価証 | 第0009号 | 平成28年6月 | 5年満了 |
| | 第0020号 | 令和4年3月 | 5年満了 |
| | | 令和4年 | 更新 |

特許工法

特許権者：エス.ジー.エンジニアリング株式会社

特許工法① 【 特許 第5074118号 】

「コンクリート構造物への注入充填材の注入方法、及び注入方法に使用する注入器」

申 請 日：平成19年7月24日

登 録 日：平成24年8月31日

特許本文の要約：

鉄筋周囲のジャンカ空洞や割裂部ひび割れの内部に深く安定的に注入でき、強度の回復増強を確実に出来る事が出来る。コンクリート構造物の補強における補強充填材の注入方法を開発・提供する。

特許工法② 【 特許 第5941585号 】

「コンクリート構造物への注入充填材の注入方法及び注入器」

申 請 日：平成27年7月31日

登 録 日：平成28年5月27日

特許本文の要約：

注入時コンクリート内部空気を、**安定的に引き抜くこと**の出来る機能とし、補強効果が得られ補強できる装置とした。

その他の技術評価（自治体ほか）

● **首都高速道路株式会社**
新技術活用システム

審査結果：ランクB
(要検討だが採用可能)

採用年月日：平成26年6月19日

● **広島県建設分野の革新技术活用制度**

ひび割れ注入工／断面修復工

評価結果：区分3（推奨技術）

(活用促進を図る推奨技術)

● **東京都 建設局 新技術登録**

登録番号：1501012

採用年月日：平成28年3月15日

● **静岡県**

新技術・新工法情報データベース

評価結果：レベル3（一般工事で活用）

登録番号：1597

● **東京都 港湾局**

新材料・新技術データベース

登録番号：30003

採用年月日：平成31年3月8日

● **国土交通省 空港舗装維持管理**

マニュアル(案)令和2年改訂版

内圧充填工

● **茨城県**

新技術情報提供データベースIT'S

評価結果：A工法（積極活用技術）

登録番号：A-17097

※掲載期間終了

国土交通省新技術 NETIS

掲載期間：2007年～2018年3月

登録番号：CG-070007V